

議会の動き (主な内容)

町農業委員会の要望書を受理



12月4日、議長室に農業委員長他3名の委員が来庁し、「農業施策に関する要望書」の提出を受けました。

6つの要望事項について、議会で十分議論し、できる事から課題解決に向けて取り組んで参ります。

福島県町村議会研修会



10月23日、郡山ユラックス熱海において、町村議会研修会に参加しました。

<講演内容>

- ①地方議会の在り方
(東京大学法学部 金井利之教授)
- ②今後の政局・政治展望
(日本大学法学部 岩井奉信教授)

議会報編集委員会 研修実施

10月10日
全国町村議会
広報研修会



10月11日
福島民報本社

議会だよりの更なる充実を目指して、研修を実施しました。

研修内容として、広報紙の文章や広報紙の企画・編集、WEB・SNSの活用方法、議会だよりのレイアウト等について専門家の編集方法を学び、今後、議会情報をよりわかりやすくお伝えできる議会だより作成に活かして参ります。

各町村議会の視察 受入れ



3つの町村議会が行政視察に来庁し、意見交換しました。

<視察を受け入れた町村>

- ①宮城県大衡村 (10月12日)
視察内容：議会運営と議会活性化
- ②三重県朝日町 (11月13日)
視察内容：新庁舎建設・農業振興
- ③群馬県中之条町 (11月28日)
視察内容：議会インターネット録画配信

町民の皆様と議会をつなぐ

『ばんげ未来トーク』 (町民議会懇談会)

6月から募集していた結果、5つの懇談会が開催されました



84人の声を聴く

Q：『ばんげ未来トーク』とは？

A： 議会では毎年「町民・議会懇談会」を実施してきましたが、特に若い方や女性の参加者が少ないこともあり、多様な意見をどうお聞きするかが課題となっていました。

解決策として、昨年度より5名以上の町民・団体から要請があれば、皆様のもとへ議員を派遣する意見交換会を企画しました。テーマを設けて、町民の方と様々なことを語らうことを目的としています。昨年度は8団体から要請があり、112名が参加頂きました。今後2月に2団体からの申し込みにより、懇談する予定です。

Q：議員との意見交換会は何のため？

A： 直に会って意見交換した中で見えてくる町の課題や、皆様から頂いた貴重なご意見を、議会議員が詳しく調査・研究し、町へ提言して活用して参ります。

坂下婦人会（7月11日 中央公民館にて）

女性議員4名に議長を加え、坂下婦人会員26名の方々とばんげ未来トークが行われ、女性ならではの多岐に渡る意見が続出し、時間が足りないほど活発な懇談となりました。

急増する外国人のゴミの出し方や騒音で困る事。防犯カメラ設置要望等々があり、次に、町には豊富な観光資源がいっぱいあるのに、地域の人が知らなすぎるのは、町の発信力が弱いのではないかと、さらに、婦人会活動では、町の要請が多く、会員の高齢化等で活動が困難な状況等の意見が出されました。

(酒井育子議員)



新富町自治会（9月29日 新富町自治会館にて）



（山口亨議員）

新富町自治会の方々23名と産業建設常任委員会、更に副議長を加え、1時間半、活発な議論が交わされました。当初、質問事項が通告されていまして、委員長、副議長の説明から始まり、財政の問題、道の駅の状況、糸桜里の湯の経営等々、諸問題に対して真剣に討論されました。

特に要望事項として、議会はチェック機能として役目を果たしてほしい。新富町は、人・車の流れが多い。治安・交通について考えてほしいなどの要望がありました。

建設業組合（10月2日 町建設業組合会館にて）



（山口亨議員）

町建設業組合会員全員の11名と、産業建設常任委員会全員、更に議長を加えて真剣に懇談会が開催されました。組合からは要望事項は直に町当局へ提出すること、現況を議員の方々に伝えたいというところで、入札制度、発注等、組合の課題等々、色々な説明と質疑が交わされました。

特に、近隣町村の中で当町の公共事業予算計上額は最低であり、協働のまちづくりの基本に基づき、財政計画を改善・修正してほしいという強い要望がありました。

NPO法人NIVO（11月1日 東分庁舎会議室にて）



（渡部順子議員）

NIVO関係者13名と、総務常任委員会全員の出席のもと、ばんげ未来トークを実施しました。

主な意見交換として、第一に「環境・まちづくり」については、コミセンの在り方、利用者の方へ使用料等の光熱費負担をお願いしたいとの意見が出されました。

第二に「防災について」は、防災体制を整える上で各コミセンへの発電機配置の要望がありました。

議会として今後、審議・検討し、町へ提案して参ります。

観光物産協会（11月26日 東分庁舎会議室にて）

会津坂下町物産協会理事8名、職員3名、議員5名の参加でトークが始まりました。観光物産協会とは今回で2度目になります。

今回のテーマは「物産・道の駅振興について」であります。協会理事長から道の駅で流されている、湯川村の村民歌の件、インフォメーションホールに町職員を配置したらどうかという提案がされました。

また、組織の点では役員報酬が不透明なのはとの指摘もあり全体を通して会津坂下町に、道の駅運営にもっと積極的に携わって欲しいと強い要望がありました。

（物江政博議員）

Q：皆さんから頂いた意見を受けて、議会がどう動くのか？

A：3月を目途に課題項目を取りまとめ、町長へ提言書として提出していきます

多くの皆さんにご参加いただきありがとうございました！

新年のあいさつ



古川庄平議長

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本町において、今年度は、今後10年間の町の方針である第六次振興計画基本構想に基づき、2020年4月からの基本計画が新たに策定される重要な一年となります。町政の課題が山積しておりますが、町民が夢と希望を持って、安心して暮らすことのできる町を、創造していく使命と責任が行政には課せられているものと思えます。

めに、昨年度から実施しております「ばんげ未来トーク（町民・議会懇談会）」に取り組み、町民皆様より多種多様なご意見を拝聴する機会を作って参りました。今後も町民皆様の声を町政に反映してまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見を議会にお届けください。

私も町議会議員の任期は、残り一年三ヶ月となります。今年度は議会改革の仕上げと実践の年になると考えます。町政の課題に真摯に向き合い、16名の議員一人ひとりが自らの役割と責務を自覚し、議会基本条例に基づき、町民の意思を的確に町政に反映できる議会の確立を目指してまいります。結びに、会津坂下町の益々の発展と町民の皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



町民に分かりやすく身近な議会を目指し、町政の発展に本年も全員で取り組んで参ります。よろしくお願い申し上げます。

会津坂下町議会議員一同

第4回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。



町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

議会傍聴へおいで下さい

平成31年第1回定例会は、3月7日から20日までの会期（予定）です。一般質問は3月11日(月)、12日(火)午前10時開会予定です。

編集後記

平成最後の新春、皆様どんな夢を心に持ったでしょうか。

私たちは、町はこうあってほしい、こんな町になってほしい、みんなを夢を語り、行政と議論しながら、少しずつ、確実に会津坂下町を安心、安全で住み良い町にしたいと思えます。

議会としても皆様の夢が叶うよう、開かれた議会、そして確実な情報発信を目指し、がんばりますので、よろしくお祈り致します。

(委員 三橋 薫)

議会報編集特別委員会

- 委員長 猪俣 恒雄
- 副委員長 赤城 大地
- 委員 横山 智代
- 委員 三橋 薫
- 委員 五十嵐正康
- 委員 酒井 育子

